

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営			さくらユニット・コスモスユニット共通		
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職員全員が共有できる場所に掲げ、周知を図り日々の業務に取り組んでいる。	「きれいで、みんな笑顔で、のびのびと」という理念を掲げ、理念を共有して実践につなげています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物時での交流、地域の夏祭りや敬老会等の行事への参加、地域の保育園児や中学生との交流、ボランティアの受け入れ等を行っている。	地域の行事に参加されたり、ボランティアの方がホームの行事に参加されています。又、近隣の保育園や小学生の訪問があり、中学生の職業体験も受け入れ、積極的に地域との交流を図っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域での認知症サポーター養成講座の開催・安心声掛け訓練等に参加・協力をしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期開催は行っていないが、行政等との相談を行い、開催して行きサービス向上に努めていきたい。	定期的に開催されていないが、活動報告や、事故報告など話され、意見を頂きサービスの向上に活かされています。	今後、定期的に関われる事を期待します
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	会議等への出席、日頃から連絡を取り、協力関係を築くよう取り組んでいる。	管理者がサポート養成講座のコーディネータをされていて月に一回会議に参加されています。又、日頃から相談や、連絡を密にとり協力関係を築けるよう取り組まれています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	会議等を行い、個別的な対応に取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルがあり、会議等にも話しをされています。ホームの入り口は安全の為、施錠されていますが、ホーム内は施錠せず、自由に行き来できるようになっています。	身体拘束についてのマニュアルなどはあるが、定期的な研修などを行なっていないので、今後の研修の年間計画の中に取り入れ実施される事を期待します。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い、管理者と職員間で話し合い、防止に努めている。	/	/

8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等により、学ぶ機会を設けている。又、必要のある方には活用できている。		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行うと共に、思いや質問等を十分に傾聴し、理解・納得を得られるようにしている。		
10	6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から利用者様の声を聴き、反映できるよう努めている。また、ご家族等の面会時には、日常の様子を伝え、意見や要望等を聞かせて頂いている。	面会時に家族から意見や要望が出され、何でも話せる関係作りをされています。意見や要望は、職員間で共有し、運営に反映されています。	今後、家族同士が意見交換出来るように家族会を開ける事を期待します。
11	7 ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	職員会議や業務の中で出た意見や提案を聞き、反映できるよう努めている。	毎日朝のミーティングや、会議の中で意見が出されています。又、日頃から何でも話せる関係作りがされており、日常的に意見が出されています。	
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の要望や状況を把握し、パートから正規職員への雇用や勤務形態の変更等を行っている。又、福利厚生等の整備に努めている。		
13	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修への参加・情報の提供・職員研修での勉強を行っている。		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修や会議への参加で交流を図り、情報交換等を行っている。他施設・管理者間の相互訪問を行っている。		

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面談で、困り事や要望等を聞き、入所後もその都度要望を聞き対応し、より良い関係づくりに努めている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	気軽に何でも話せるような雰囲気作りを心掛け、困り事や、不安な事等を十分に傾聴し、安心感を持って頂きより良い信頼関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族等が、まず必要としている要望を取り入れた支援に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理を一緒に行い、味付けをして頂いたり、洗濯物干し・たたみを助けて頂いたりしている。生活を共にし、支え合う関係作りを行っている。	
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	情報は共有し、通院介助や外泊・外出も積極的に行っている。又、いつでも面会に来れるよう支援している。	
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	馴染みのある店への買い物や行きつけの美容院の利用等、地域での行事への参加も行っている。	知人の方が来園されたり、手紙やはがきを出されています。又、家族の迎えにて行きつけの美容院に行かれたりと、馴染みの人との関係をもたれています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係性やその方の状態を見極めながら、お互い支え合えるような環境作りを行っている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、ご本人の様子を見に行ったり、ご家族とも交流をもっている。	

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や行動、コミュニケーションから、その方の思いや希望などを聞いたり感じ取りながら把握に努めている。	入所時に本人の希望、家族の希望を聞かれています。又、入所後も本人の希望に沿って生活されています。把握が困難な方は、本人の気持ちに添って意向を把握する様努力されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご本人・ご家族から入所前の生活歴の情報を得ている。又、入所後はご本人との会話の中での内容からも情報等得て把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護経過の記録や申し送り等を通して、一人一人の状況を把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族の意見等を傾聴し、反映できるよう作成し、カンファレンスでの意見も取り入れている。	6ヵ月ごとに見直しをされていますが、何か変化があればその都度行っています。家族が面会に来られたときに意見を求め、現状に即した介護計画を作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	センター方式を取り入れ、利用者様個々の毎日の様子等を職員全員で記録し、共有している。又、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	看護師による体調管理や主治医との連携を図っている。訪問利用サービスの受け入れも行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの方や保育園児の訪問による交流や中学生の職業体験の受け入れでの交流などを行っている。消防署の方たちとの避難訓練を行っている。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望により、かかりつけ医が異なっている。主治医とも密に連絡を取り、必要に応じ専門医への受診も行っている。	かかりつけ医は希望に添われており、基本的には家族の送迎ですが、無理な時は通院介助も行われています。また往診医は2週間に1回来られ適切な医療が受けられます。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	看護師による体調管理・介護職員との情報共有を行い、必要に応じ適切なアドバイスももらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	主治医・看護師等担当者と連絡を取り合い、情報交換を行い相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に説明を行ってご本人・ご家族の要望を聞き、話し合い共有している。又、状況によりその都度話し合いを行っている。	現在看取りは行われていませんが、重度化した場合については、早い段階から話し合われています。又、状態に変化があれば随時話し合いが行われています。主治医との連携も随時行われています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの整備、それに基づき研修会での勉強の実施・実践に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルの整備、研修や訓練の実施。年2回消防署との避難訓練を利用者様とともにやっている。	年2回消防署の立ち合いのもと避難訓練が行われ、研修もされており、マニュアルも作成されています。また地域の消防団の見学も行われ、協力体制が築かれています。	今後、備蓄も考えておられたり、更なる地域との協力体制も考えておられているので、実施できることを期待します。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ誘導時の声掛けの場面等をはじめ、プライバシーを尊重し、人格や誇りを傷つけないよう言動に注意している。	介助の時などは、自己決定しやすい言葉かけや、プライバシーを損ねない対応がされています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方に合わせ、衣類を選んだり欲しい物を買ったりと、ご本人が決定できるように支援している。	
38	15	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況や希望により、食事時間や食事場所を聞き入れている。居室で過ごしている方等、その方々に合わせた対応を行っている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方が好む衣類、着たい物を着ている。又、お化粧をされている方への支援も行っている。	
40	16	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員とともにメニュー作りを行う。好きな物を取り入れたり、その方によって嫌いな物を別の物に変えたりし提供している。職員とともに準備・食事・片付けも行っている。	利用者の好みを聞き、メニューに取り入れられたり、菜園で作られた野菜を食材として使われたっています。又、出来る限り片付けなど共に行い、楽しく食事ができる雰囲気を大切にされています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	食事量・水分量をその都度記録し、全職員で把握している。栄養バランスの取れる食材の提供や体重の増減にも注意している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の方の状態により、声掛け・準備・見守り・介助を行っている。	

43	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>センター方式を活用し、一人一人の力や排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を使用し排泄パターンを把握され、トイレでの排泄を大切にされています。居室にもトイレがあるが別に車椅子用のトイレもあり、自立に向けた支援が行われています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>規則正しい生活を送れるよう支援し、食べ物や飲み物等の工夫も行っている。必要に応じ、主治医と相談し対応している。</p>		
45	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ご本人の希望に沿って入浴して頂いている。時間帯についても希望に沿っている。半身浴・清拭・足浴等個々に対応している。</p>	<p>入浴は基本週3回行われ、希望に応じて毎日の入浴にも対応されています。浴室にはリフトもあり個々の状態に合わせた入浴が出来るよう支援されています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>室温・布団等本人の好みで対応している。体位が同じになりがちの方への対応も行っている。</p>		
47	<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の情報は個々のファイルに保存し、全職員が確認している。症状の変化時は、すぐ対応するよう努めている。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意を活かせる分野が発揮できる機会を設けたり、趣味が継続できるよう支援している。外出等の気分転換も行っている。</p>		

49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	出来る限り、ご本人の希望に沿い、買い物やドライブに行っている。又、ご家族にも協力して頂き少し離れた店や自宅にもいかれている。	本人の希望に添い、家族の協力のもと外出や、個別に散歩、買い物に行かれています。また、地域の行事などにも積極的に参加されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人・ご家族の希望にて自分でお金を持たれている方もいる。買い物時では、ご本人にお金の支払って頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話でご本人で電話をかけたり、施設の電話を利用されている方もいる。手紙・ハガキを利用者様が書き、職員がポストに投函している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	場所的にも自然が多く静かな環境で、鳥の鳴き声が聞かれ、季節を感じる事が出来ている。建物内は柔らかな光を取り入れる造りとなっている。又、清潔を心掛け、家庭的な雰囲気を作りを行っている。	建物は木造で温かみがあり、居間には畳があったり、天井が高く、窓も大きく外の光が入り、明るく静かで過ごしやすい空間になっています。また、利用者の方が作られた作品も飾られ、季節感があり家庭的な雰囲気になっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファに座りテレビを見たり、玄関ホールで過ごされたり、気の合う仲間とリビングで過ごされたりと様々に対応できるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人・ご家族の希望により、馴染みの家具やテレビを使用している。ご本人・ご家族の写真等好きな飾りをして頂いている。	持ち込みの制限はなく、本人、家族の希望に添い、利用者の馴染みの物を使用されたり、居心地よく過ごせる空間になっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全室バリアフリーと手すりを設置することにより、安全な環境作りに取り組んでいる。一人一人が出来る事を活かせるよう、自立支援に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない